

- b 塗料 (1) ポリウレタンクリヤ (2) ポリウレタンサンディング
 (3) ポリウレタンシーラー (4) アクリル樹脂塗料
 (5) アミノ樹脂塗料 (6) 硝化セキ素系塗料
 (7) ポリエス樹脂塗料 (8) チークオイル
 (9) ウッドシーラー (10) 其 の 他

o 着色剤 水性酒精染料 目止剤

※ 工程及使用塗料については塗見本帖のとおり

4. 成 果 平滑な鏡面はブラツク化粧板が現れ張る事で簡単であり今さら手数のかゝる塗りと同じ事は無意味である故に新塗料により、塗料の特性を生かし選択して使用に当つては塗料に対する知識が従来以上に必要であり、光沢透明度、塗肌、塗膜の強度、乾燥時間、作業性等塗料によつてそれぞれ異なるので塗装に当つて性質を十分把握する様努めた。併せて家具の基本的色彩を基準として、和洋家具塗見本帖を作成し業界に頒布した。

(16) 屋久杉材の薬品処理

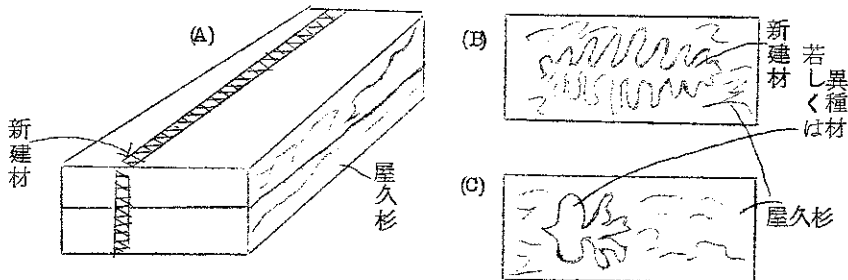
1. 担当者 工業技師 堀之内 輝 男
2. 目的 屋久杉といえば柰目の美しいのが普通であるが、材の異色の場合未利用材が多いので、薬品処理によつて同色材に着色し、広く活用する様試みた。
3. 概要 使用薬品 塩 酸
 過マンガン酸カリ
 ログツド
 重クロム酸
 其 の 他
 上記各種薬品を使用したか、薬品を塗布し、トーチランプ焼きのものが好結果が得られた。
 屋久杉のもつ天然の味を損なわない程度に適量の染料と、薬品と併合する事によつて、尙一層効果があると思う。
4. 成 果 用途によつて、薬品を選択し、行い事により今迄利用されない異色材を、工芸的に大いに活用出来るようにをつた。

(17) 屋久杉と象嵌の研究

1. 担当者 工業技師 堀之内 輝 男
2. 目的 屋久杉のもつ柰目、色沢による渋さに新建材の象嵌により近代的工芸品への着目にある。
3. 概要 象嵌の方法として

1. 彫り込み法
2. ミシン鋸によつて挽抜いて嵌め込む法

例



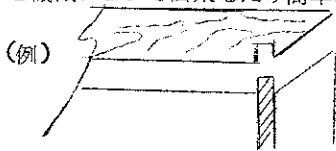
ミシン鋸によつて挽抜く場合、屋久杉と新建材若しくは異種材の接着は加工中、剝離しない程度で膠、醋酸ビニール系接着剤でよい。

4. 成果 屋久杉材に新建材若しくは異種材の象嵌組合せによつて斬新的な工芸品の出現をみた。

今后象嵌模様加工、材料選定着色の問題を継続研究中である。

(18) 取り付枓による留構造の研究

1. 担当者 工業技師 堀之内 輝 男
2. 目的 従来の工作法を、機械加工によつて、簡易に留接工作するを目的とする。
3. 概要 今迄の隠蟻組包蟻組による留加工を用いて工作しているが、丈夫な反面加工が非常に困難であり機械加工では無理な点がある。
これを機械によつて出来るだけ簡単に留加工した。



4. 成果 留構造の簡易化、それに寸法の正確さにより機械加工によつての留接工作は一応効果があつたが、強度の問題で枓の大小、取付方法接着技術等研究の余地があると思う。

(19) 木材に対する Vista-P の防水試験

1. 担当者 工業技師 山田 式 典
2. 目的 フローリング材として床面に施工された木材が吸湿をなすと剝離等種々の不都合が生ずる。従つて、どうしても防湿の必要がある。しかるに今回は油性